



平成29年度 上半期の予算執行状況

市民の皆さんに、市の財政状況をご理解いただくために、一般会計などの執行状況をお知らせします。今回は平成29年度上半期(4月～9月末)の予算の執行状況の概要です。

【一般会計】

平成29年度一般会計予算は当初221億3,600万円から、9月までに1億463万円の増額補正を行い、222億4,063万円となりました。なお、前年度繰越額21億1,924万円を含めた総額で243億5,987万円となりました。

歳入の収入済額は113億7,203万円で、収入率は46.7%となっています。

歳出の支出済額は83億1,883万円で、執行率は34.1%となっています。

□ 予算現額 ■ 収入済額・支出済額 () 収入・執行率

歳入	合計 (収入率)		予算現額	合計 (執行率)		歳出
	113億7,203万円	(46.7%)		243億5,987万円	83億1,883万円	
市税	54億8,627万円			46億5,940万円		議会費
	34億4,377万円 (62.8%)			13億2,444万円 (28.4%)		議総務費
繰入金	19億8,805万円			68億5,176万円		民生費
繰越金	10億9,727万円 (55.2%)			26億5,481万円 (38.7%)		
分担金・負担金	5億700万円			19億4,552万円		衛生費
使用料・手数料	2億4,397万円 (48.1%)			8億4,790万円 (43.6%)		
財産収入・寄附金	7億2,880万円			11億7,490万円		農林水産業費
諸収入	2億1,847万円 (30.0%)			6億918万円 (51.8%)		商工費
地方交付税	66億5,143万円			27億7,981万円		
	47億1,906万円 (70.9%)			3億1,104万円 (11.2%)		土木費
国庫支出金	40億8,532万円			11億254万円		消防費
県支出金	10億843万円 (24.7%)			5億501万円 (45.8%)		
市債	36億600万円			32億8,945万円		教育費
	0万円 (0.0%)			9億6,098万円 (29.2%)		
その他※	13億700万円			25億5,649万円		その他※
	6億4,106万円 (49.0%)			11億547万円 (43.2%)		

※その他=地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

※その他=災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費

【特別会計】

国民健康保険特別会計(事業勘定)

歳入	40億7,770万円	(43.9%)	予算現額	
歳出	38億1,832万円	(41.1%)	92億8,484万円	

組合立国保成東病院事業清算事務特別会計

歳入	1億2,950万円	(58.9%)	予算現額	
歳出	6,535万円	(29.7%)	2億2,000万円	

国民健康保険特別会計(施設勘定)

歳入	6,308万円	(43.9%)	予算現額	
歳出	5,524万円	(38.5%)	1億4,363万円	

地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計

歳入	3,654万円	(29.7%)	予算現額	
歳出	3,654万円	(29.7%)	1億2,309万円	

後期高齢者医療特別会計

歳入	1億6,455万円	(33.0%)	予算現額	
歳出	1億4,400万円	(20.1%)	4億9,890万円	

農業集落排水事業特別会計

歳入	2億273万円	(74.8%)	予算現額	
歳出	1億2,180万円	(44.9%)	2億7,100万円	

介護保険特別会計

歳入	21億5,551万円	(45.9%)	予算現額	
歳出	18億6,366万円	(39.7%)	46億9,438万円	

平成28年度 決算に係る財政健全化判断比率および資金不足比率

すべての比率で基準をクリアしました。

単位：%

	山武市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率※1	赤字なし	12.84	20.00
連結実質赤字比率※2	赤字なし	17.84	30.00
実質公債費比率※3	9.7	25.0	35.0
将来負担比率※4	比率なし(※6)	350.0	-
	山武市	経営健全化基準	備考
資金不足比率※5	-	20.0	水道事業会計
	-	20.0	農業集落排水事業会計

- ※1 普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率
- ※2 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率
- ※3 借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率
- ※4 市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率
- ※5 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率
- ※6 山武市では将来負担額より充当可能財源等が多いため比率がありません。

「早期健全化基準」とは…

いわばイエローカードともいうべきものです。

4つの指標のうち、1つでもこの基準以上となった市町村は、「早期健全化団体」となり、財政健全化計画を策定して自主的に財政の健全化に取り組むことになります。

「財政再生基準」とは…

いわばレッドカードともいうべきものです。

将来負担比率を除く3つの指標のうち、1つでもこの基準以上となった市町村は、「財政再生団体」となり、財政再生計画を策定して、国の監督の下で財政再建に取り組むことになります。